

第4回野鳥園臨港緑地干潟・湿地環境保全事業アドバイザーボード 議事概要

1. 日 時

平成28年6月11日（金曜日）

午後1時30分～午後4時00分

2. 場 所

野鳥園臨港緑地 展望塔 1階研修室

大阪市住之江区南港北3-5-30

3. 参加者

【委員】

鴻原委員、長瀬委員、山西委員、矢持委員

【協働事業者】

NPO法人南港ウェットランドグループ理事長 高田

大阪市建設局臨港方面管理事務所管理課長 綱

大阪市港湾局計画整備部施設管理課維持補修担当課長代理 津田

大阪市住之江区役所施設保全マネージャー 浜上

【事務局】

大阪市建設局臨港方面管理事務所管理課長代理 谷井

大阪市建設局臨港方面管理事務所管理課担当係長 内原

大阪市建設局臨港方面管理事務所管理課担当係長 田中

大阪市建設局臨港方面管理事務所管理課係員 長嶺

【その他】

傍聴者、報道関係者なし

大阪市建設局関係者2名

4. 議事

- ① 平成27年度事業報告書に基づく事業報告について
- ② 平成27年度目標管理シートに基づく事業報告について
- ③ 全体事業計画書の改訂点について
- ④ 平成28年度事業計画について
- ⑤ 平成28年度目標管理について

5. 議事概要

- ・干潟・湿地内への侵入者については、職員による巡回等によって状況把握に努め、侵入防止策をとることによって、干潟・湿地内部の環境を保全していくべき

である。

- 干潟・湿地の環境調査に関しては、内容が充実しており評価できる。ただし、より調査の精度を高めるために、関係機関の協力も得ながら塩分濃度測定などにより客観的なデータを採ってほしい。
- 調査した結果は出版したり、関係機関に情報提供したりするなどして有効に活用してほしい。
- ヨコエビ定量調査のように中学生を集めて調査を実施したということは評価できる。引き続き、野鳥園を小学生や中学生の学習の場としても活用できればよい。
- アカテガニ観察会については、都市部ではなかなかできない貴重な体験ができるということをアピールし、積極的に実施するとともに、他の環境学習会のPRにもつなげていってほしい。
- 野鳥園での活動に興味がある人、活動を応援したい人を対象に、「サポーター制度」を導入してみてはどうか。
- 環境学習イベントについては、有料、無料にとらわれず、地元企業やロータリークラブ等に協力を打診すべきである。
- 南港ウェットランドグループと大阪市との間でしっかりと情報共有を図り、事業を進めていってほしい。
- トータルコーディネイターが4名いるが、そのうち1名を広報担当専門としてはどうか。
- 野鳥園開園35周年イベント等の実施を検討してみてはどうか。